



全国都市緑化フェア「山口ゆめ花博」（平成28年11月代表質問）

次に、**全国都市緑化フェア「山口ゆめ花博」**についてお尋ねをいたします。

全国都市緑化フェアは、**都市緑化に関する意識の高揚や知識の普及を図り、「緑豊かな潤いのあるまちづくり」に寄与すること**を目的とし、**昭和58年から全国各地で開催**されている国内最大級の花と緑の祭典です。

本県では、平成20年に「全国みどりの愛護のつどい」を、また平成24年には「全国植樹祭」の開催を通じて、緑化意識の向上に取り組んでこられたところであり、県民の緑化に対する意識は近年、着実に高まりつつあります。

こうした中、緑化意識の更なる向上を図るため、**本県での平成30年秋の全国都市緑化フェア開催が、本年3月に正式決定**されたところであり、県は、新たに「全国都市緑化フェア推進室」を設置されたほか、先月には、フェアの円滑な実施や運営を図るための推進組織として、知事を会長とする実行委員会が設置されるなど、開催に向けた準備を着実に進めておられるところ です。

先般、実行委員会において承認された基本計画では、**愛称「山口ゆめ花博」が決定**されるとともに、開催テーマや開催期間、目標来場者数など、開催に当たっての基本的な考え方や展開の方向性が示されたところであり、我が会派といたしましても、明治150年の節目の年にふさわしいフェアとなるよう期待いたしますとともに、その成功に向けて全力で支援をしてまいります。

私は、フェアを通じて、来場者の方々に花と緑を楽しんでいただくとともに、開催を契機として、**花き産業や観光をはじめとする県内産業の振興を図っていくこと、また、県民参加の推進を図っていくこと**も重要であり、今後、そうした観点からも検討を進めていただきたいと思いますと考えております。

そこでお尋ねいたします。

開催まで2年を切りましたが、知事は、「山口ゆめ花博」の成功に向けて、今後、どのように取り組んでいかれるのか、御所見をお伺いいたします。

<村岡嗣政 県知事 答弁>

「山口ゆめ花博」は、県民の緑化意識の向上を図るものであり、明治150年の節目の年に当たる平成30年に、明治150年記念事業の一環として開催します。

先月には、関係団体等で構成する実行委員会を設立し、開催テーマを「山口から開花する、未来への種まき。」とし、開催期間を平成30年9月14日から11月4日までの52日間、目標来場者数を「30万人以上」と定めたところです。

お示しのように、「山口ゆめ花博」では、来場者の方々に花と緑を楽しんでいただくとともに、これを契機に、県内産業の振興や県民参加の推進を図っていくことが重要です。

このため、県内生産者と連携し、県産の花により、驚きと感動を与える巨大な花壇を整備するとともに、本県オリジナルの花を展示することなどにより、花き産業を振興してまいります。

加えて、花や緑に限らず、造園や住宅など、暮らしと関連する様々な技術等のPRを行うとともに、県内外から観光客を強力に誘致するなど、広く産業の振興に取り組んでまいります。

また、従来の緑化フェアでは、来場者が高齢者や女性に偏る傾向がありましたが、「山口ゆめ花博」では、ファミリー層をはじめ、あらゆる年齢層の方々が楽しめるよう、会場である山口きらら博記念公園の特性を活かした取組を検討してまいります。

さらに、県民参加を推進するため、来年1月から、「山口ゆめ花博県民会議」を県内各地で開催し、県民参加型の催事や公園の新たな利活用の方法などについて、様々なご意見を伺いながら、「みんなでつくるフェア」を目指します。

こうした中、開催まで残り2年を切り、出展、催事、協賛イベントなどの調整を、スピード感をもって計画的に進めていく必要があることから、私が会長を務める実行委員会を中心に、全庁一丸となった推進体制である庁内推進会議の取組や、市町との連携も強化し、フェア開催に向けた準備を加速化します。

さらに、関係団体、企業等に対しても、積極的な参加やご支援をいただきますよう働きかけを進めてまいります。

私は、「山口ゆめ花博」が、明治150年の節目の年にふさわしい大きな舞台となりますよう、そして、本県の未来に向かうエネルギーを高めることを目指して、行政、関係団体、企業、県民の力を結集して、全力で取り組んでまいります。